

---

---

**小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」  
収容定員増に関するニーズ調査【事業所対象】  
結果報告書**

---

---

**平成27年5月  
株式会社 進研アド**

# 調査概要

## 1. 調査目的

2016年4月収容定員の増加を計画中の小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」に関して、想定される就職先のニーズを把握する。

## 2. 調査概要

|        |              |                                      |
|--------|--------------|--------------------------------------|
| 調査対象   |              | 想定される就職先(幼稚園及び児童養護施設等)の<br>人事関連業務担当者 |
| 調査エリア  |              | 神奈川県、東京都、静岡県を中心とした全国                 |
| 調査方法   |              | 郵送調査                                 |
| 調査対象数  | 依頼数          | 2,134社                               |
|        | 回収数<br>(回収率) | 364社<br>(17.0%)                      |
| 調査時期   |              | 2015年3月2日(月)<br>～<br>2015年3月20日(金)   |
| 調査実施機関 |              | 株式会社 進研アド                            |

## 3. 調査項目

|                                        |
|----------------------------------------|
| ・属性<br>(人事採用への関与度／本社所在地／勤務先の主な業種／従業員数) |
| ・正規社員の平均採用人数                           |
| ・本年度の採用予定数                             |
| ・採用したい学問系統                             |
| ・「保育学科 通信教育課程」の特色に対する魅力度               |
| ・「保育学科 通信教育課程」の社会的必要性                  |
| ・「保育学科 通信教育課程」卒業生に対する採用意向              |
| ・「保育学科 通信教育課程」卒業生の毎年の採用想定人数            |

## 調査結果まとめ

# 調査結果まとめ

## 回答事業所(回答者)の属性

※本調査は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」に対する需要を確認するための調査として設計したため、小田原短期大学卒業生の採用者数が多いエリア(神奈川県、東京都等)の幼稚園及び児童養護施設等の事業所で人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施した。

- 本調査の回答事業所は364事業所。
- 回答者の人事採用への関与度を尋ねたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人が61.3%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人は24.2%と多く、「採用の決裁権はあるが、選考にかかわっていない」人(1.1%)も含めた採用や選考にかかわっている人は86.5%である。
- 回答事業所の本社の所在地は「横浜市・川崎市・小田原市以外の神奈川県」が35.2%、「静岡県」が28.6%と多い。
- 回答事業所の業種としては「幼稚園」が52.2%と最も多く、次いで「保育所」が34.6%と多い。
- 回答事業所の従業員数規模は「50名未満」が81.6%と最も多い。

## 採用状況

- 回答事業所の正規社員の平均採用人数を自由記述で聴取したところ、「1～5名未満」が72.0%と最も多い。
- 回答事業所の過去3か年の平均的な正規社員採用人数を合計した採用総数は2,523名である。
- 回答事業所の本年度の採用予定数は「昨年度並み」が40.1%で最も多く、「増やす」が21.4%と続く。
- 回答事業所の採用したい学問系統は「幼児教育学(幼稚園教諭を養成する)」が全体の中で最も多く78.6%、次いで「保育学(保育士を養成する)」が69.0%と多い。

# 調査結果まとめ

## 保育学科 通信教育課程の特色に対する魅力度

- 保育学科 通信教育課程の特色に対する魅力度は、全ての特色で7割を超える。
- 最も魅力度が高いのは「保育・幼児教育に関するノウハウを長年培った講師が実践的授業を展開し、より即戦力のある保育者・幼児教育者の養成を目指しています。」で91.8%、次いで「創立57年の歴史と伝統、実績を持つ小田原短期大学において、保育者・幼児教育者としての子ども観や社会観、基礎的な知識・技術を学ぶことができます。」(88.7%)、「『幼稚園教諭二種免許状』『社会福祉主事任用資格』の取得が可能です。また卒業後、専攻科に進むことで『保育士資格』の取得も目指せます。」(86.3%)。

## 保育学科 通信教育課程の社会的必要性

- 保育学科 通信教育課程の社会的必要性について、「必要だと思う」と答えた事業所は90.1%(328事業所)と、多くの事業所でこれからの社会にとって必要な学科だと認識されている。

# 調査結果まとめ

## 保育学科 通信教育課程卒業生に対する採用意向／ 毎年の採用想定人数

- 保育学科 通信教育課程卒業生を「採用したいと思う」と答えた事業所は71.4%（260事業所）である。
- 保育学科 通信教育課程卒業生を「採用したいと思う」と答えた260事業所に対し、保育学科 通信教育課程卒業生を毎年何名程度採用すると想定しているか尋ねたところ、毎年の採用想定人数は合計で322名である。

### 採用意向 属性別傾向

#### ◇本社所在地別

- 地元である「神奈川県」の事業所の採用意向は75.3%と高い。

#### ◇業種別

- 「幼稚園」の採用意向は66.8%、「保育所」の採用意向は73.0%。

#### ◇採用したい学問系統別

- 採用したい学問系統で「幼児教育学」または「保育学」を選んだ事業所の採用意向は72.1%。

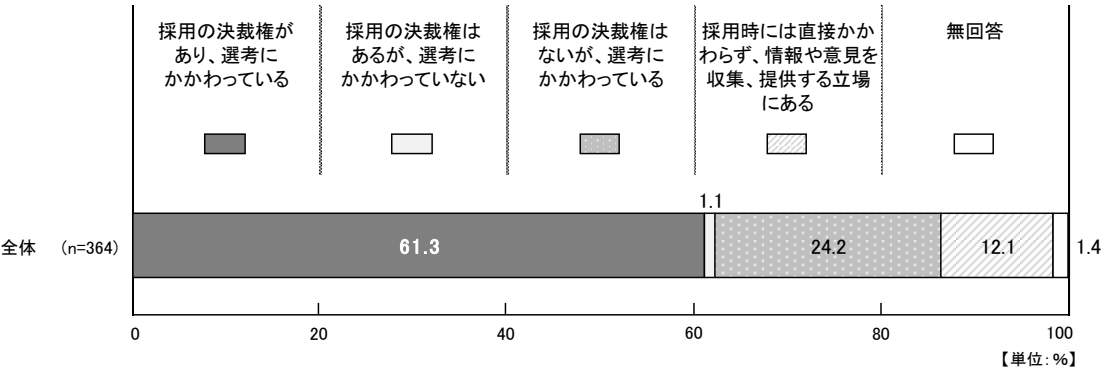
## 調查結果



# 属性(人事採用への関与度／本社所在地)

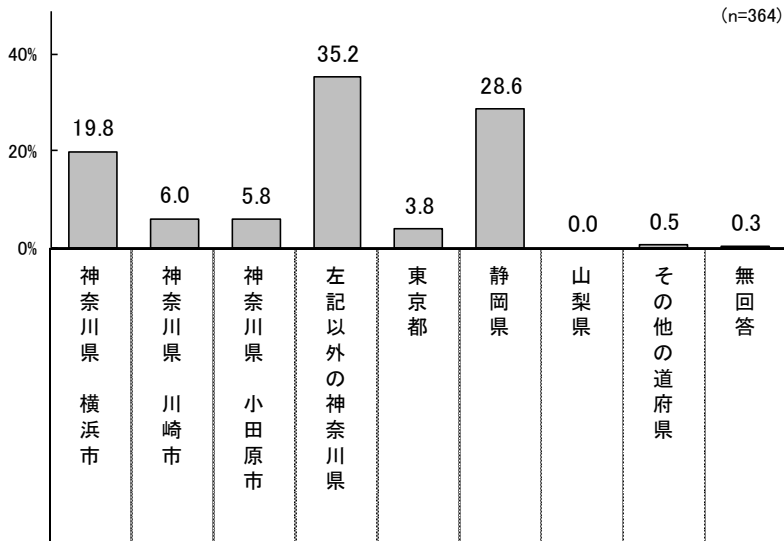
## ■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■本社所在地

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

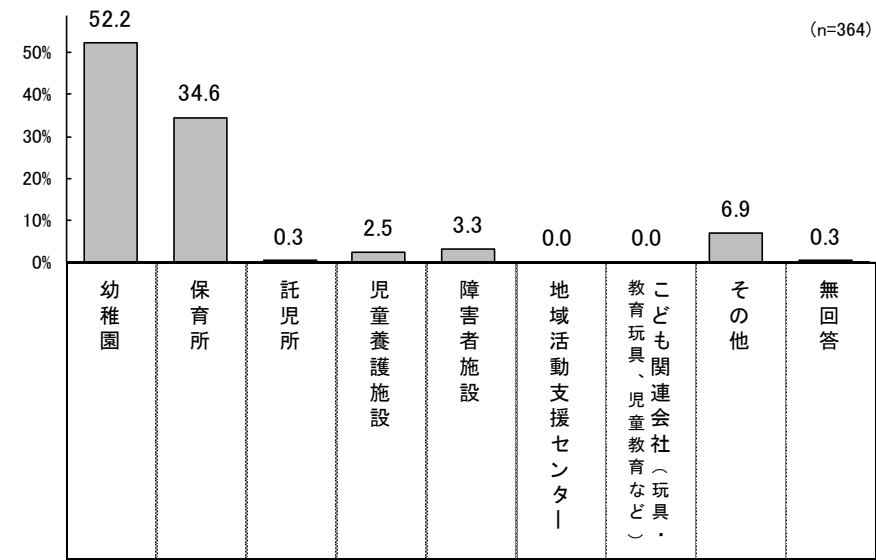




# 属性(勤務先の主な業種／従業員数)

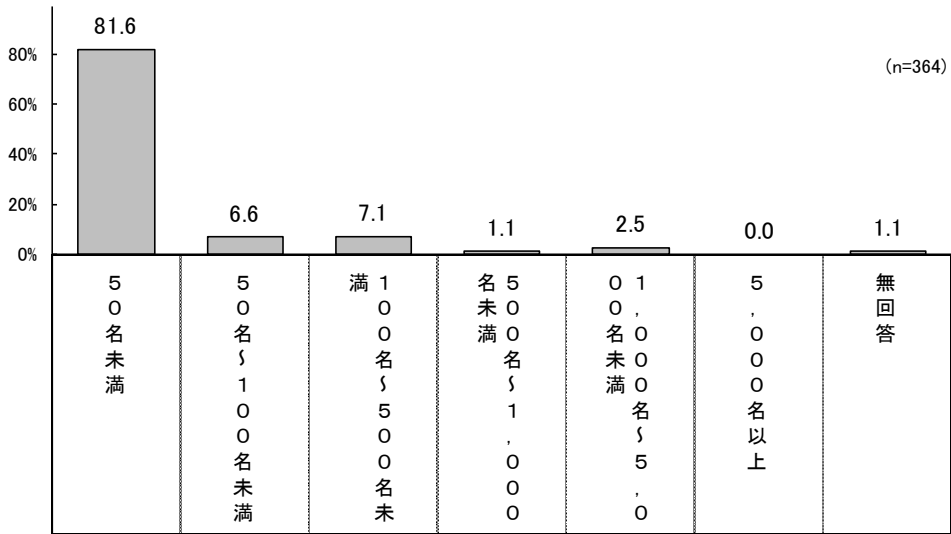
## 勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴団体の種類について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



## 従業員数

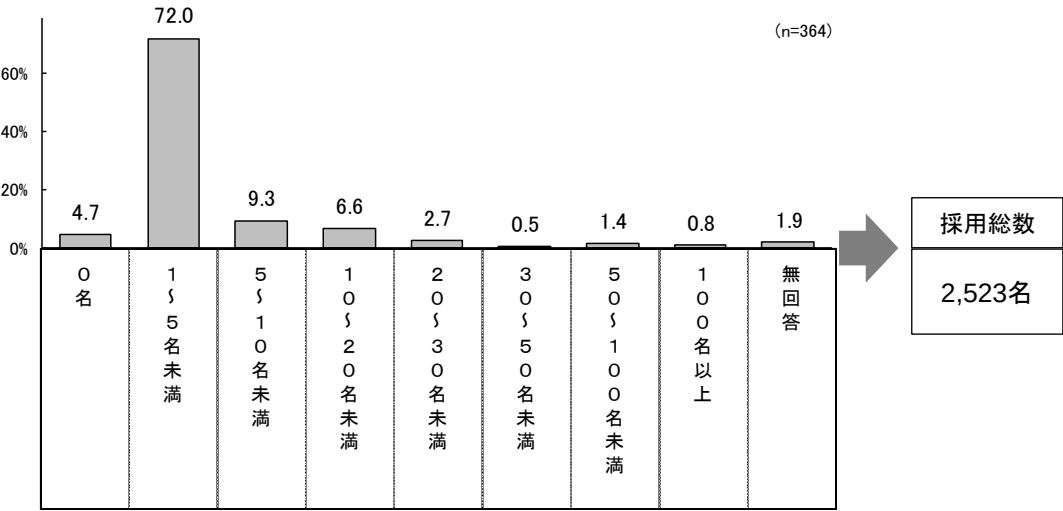
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



# 正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

## ■ 正規社員の平均採用人数

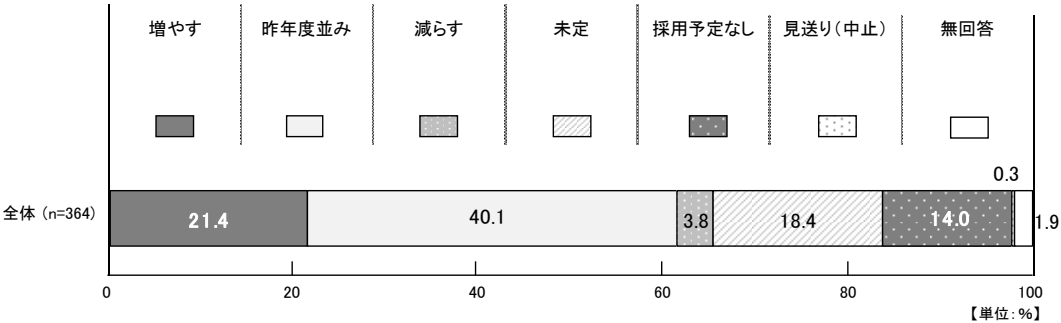
Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。



※自由記述で聴取した人数をカテゴリー分けしてグラフ化。

## ■ 本年度の採用予定数

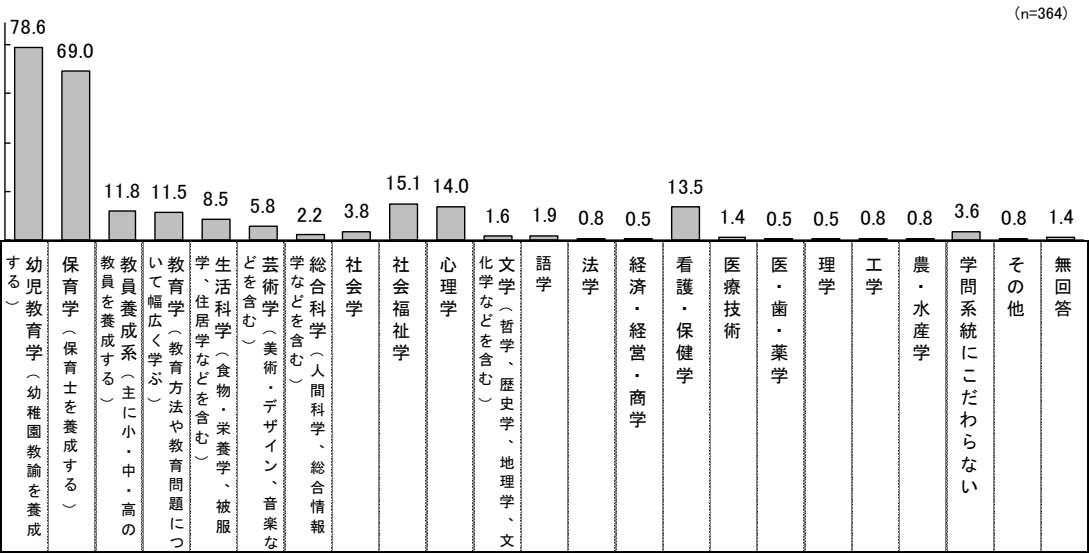
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



# 採用したい学問系統

## ■採用したい学問系統

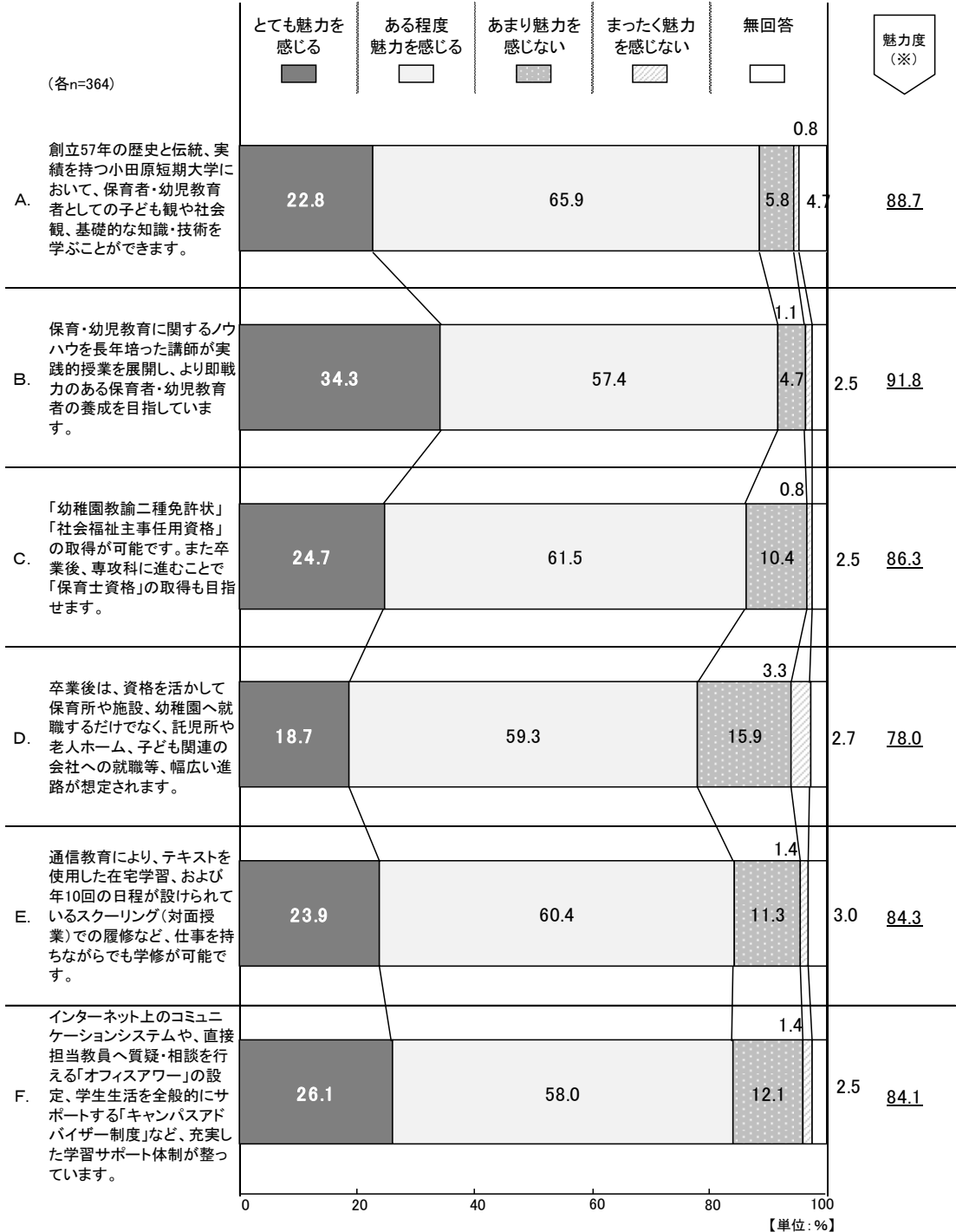
Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部・学科を卒業した人物を採用したいとお考えですか。  
(あてはまる番号すべてに○)



# 「保育学科 通信教育課程」の特色に対する魅力度

## ■「保育学科 通信教育課程」の特色に対する魅力度

Q8. 小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」には、以下のような特色があります。  
貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。  
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

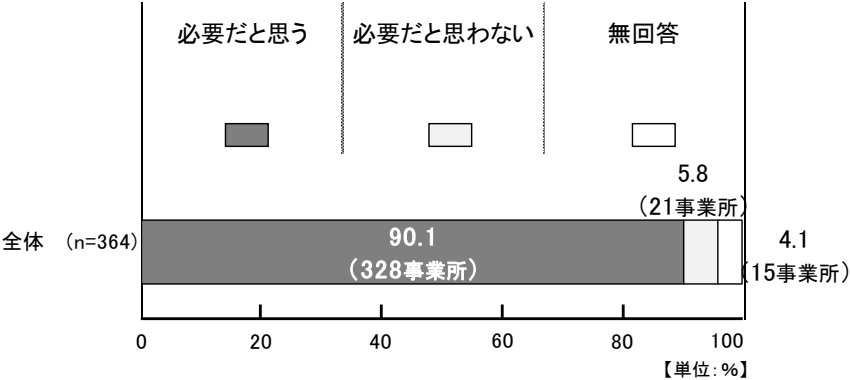


※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

「保育学科 通信教育課程」の社会的必要性／「保育学科 通信教育課程」卒業生に対する採用意向／「保育学科 通信教育課程」卒業生の毎年の採用想定人数

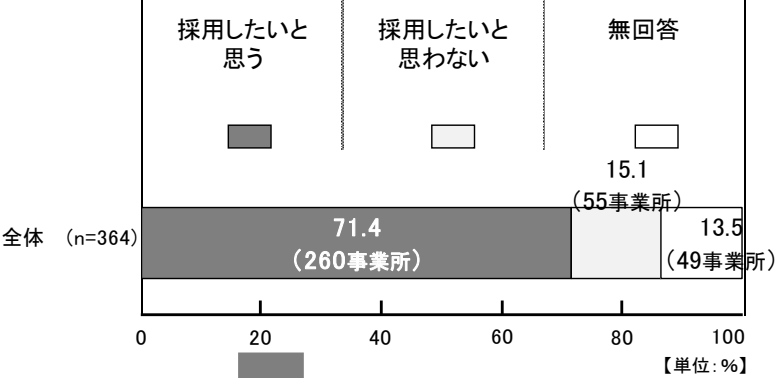
■「保育学科 通信教育課程」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



■「保育学科 通信教育課程」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生について、採用したいと思えますか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた事業所のみ抽出

■「保育学科 通信教育課程」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

| 調査数 | 単位  | 1名   | 2名  | 3名  | 4名  | 5～9名 | 10名以上 | 人数は未確定 | 無回答 | ⇒ 毎年の採用想定人数・計※(名) |
|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-------|--------|-----|-------------------|
|     |     | %    |     |     |     |      |       |        |     |                   |
| 全体  | 260 | 25.0 | 7.7 | 3.1 | 0.0 | 0.4  | 1.2   | 60.8   | 1.9 | 322               |
|     |     | 件    | 65  | 20  | 8   | 0    | 1     | 3      | 158 | 5                 |

※ 毎年の採用想定人数・計 「5～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名を代入し合計値を算出

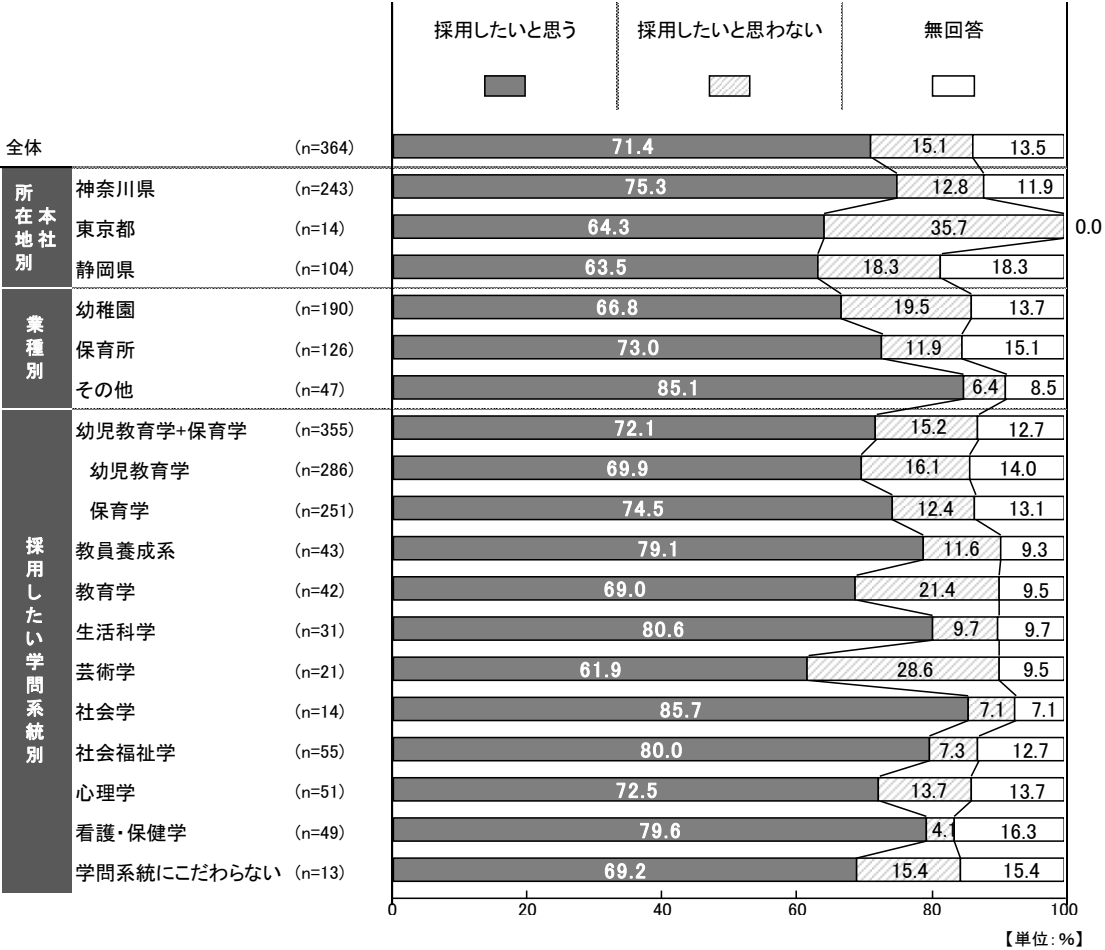
# 「保育学科 通信教育課程」卒業生に対する採用意向 ＜属性別＞

## ■「保育学科 通信教育課程」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。（あてはまる番号1つに○）

＜属性別＞

※サンプル数10未満は未掲載



調査票

- Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部・学科を卒業した人物を採用したいとお考えですか。  
(あてはまる番号すべてに○)
1. 幼児教育学(幼稚園教諭を養成する)

2. 保育学(保育士を養成する)

3. 教員養成系(主に小・中・高の教員を養成する)

4. 教育学(教育方法や教育問題について幅広く学ぶ)

5. 生活科学(食物・栄養学、被服学、住居学などを含む)

6. 芸術学(美術・デザイン、音楽などを含む)

7. 総合科学(人間科学、総合情報学などを含む)

8. 社会学

9. 社会福祉学

10. 心理学

11. 文学(哲学、歴史学、地理学、文化学などを含む)

12. 語学

13. 法学

14. 経済・経営・商学

15. 看護・保健学

16. 医療技術

17. 医・歯・薬学

18. 理学

19. 工学

20. 農・水産学

21. 学問系統にこだわらない

22. その他( )

小田原短期大学では、2016年(平成28年)4月に、  
「保育学科 通信教育課程」の入学定員を増やすことを計画しています。  
※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧くださいの上でお答えください※

- Q8. 小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

|                                                                                                               |   | とても<br>魅力を感じ | ある程度<br>魅力を感じる | あまり<br>魅力を感じない | まったく<br>魅力を感じない |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--------------|----------------|----------------|-----------------|
| 例.      ○○という力が身につきます。                                                                                        | → | 1            | 2              | 3              | 4               |
| A. 創立57年の歴史と伝統、実績を持つ小田原短期大学において、保育者・幼児教育者としての子ども観や社会観、基礎的な知識・技術を学ぶことができます。                                    | → | 1            | 2              | 3              | 4               |
| B. 保育・幼児教育に関するノウハウを長年培った講師が実践的授業を展開し、より即戦力のある保育者・幼児教育者の養成を目指しています。                                            | → | 1            | 2              | 3              | 4               |
| C. 「幼稚園教諭二種免許状」「社会福祉主事任用資格」の取得が可能です。また卒業後、専攻科に進むことで「保育士資格」の取得も目指せます。                                          | → | 1            | 2              | 3              | 4               |
| D. 卒業後は、資格を活かして保育所や施設、幼稚園へ就職するだけでなく、託児所や老人ホーム、子ども関連の会社への就職等、幅広い進路が想定されます。                                     | → | 1            | 2              | 3              | 4               |
| E. 通信教育により、テキストを使用した在宅学習、および年10回の日程が設けられているスクーリング(対面授業)での履修など、仕事をしながらでも学修が可能です。                               | → | 1            | 2              | 3              | 4               |
| F. インターネット上のコミュニケーションシステムや、直接担当教員へ質疑・相談を行える「オフィスアワー」の設定、学生生活を全般的にサポートする「キャンパスアドバイザー制度」など、充実した学習サポート体制が整っています。 | → | 1            | 2              | 3              | 4               |

- Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)
1. 必要だと思う

2. 必要だと思わない
- Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)
1. 採用したいと思う

2. 採用したいと思わない
- Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、小田原短期大学「保育学科 通信教育課程」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)
1. 1名

2. 2名

3. 3名

4. 4名

5. 5～9名

6. 10名以上

7. 人数は未確定

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

## 卷末資料 調查票





小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 に関するアンケート

小田原短期大学では2016年(平成28年)4月より、「保育学科 通信教育課程」の入学定員を増やす計画を立てています。

このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した短期大学や学科にするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

**※ このアンケートと同封した資料に記載されている「保育学科 通信教育課程」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。**

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

- Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。  
(あてはまる番号1つに○)
- 1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
  - 2. 採用の決裁権はあるが、選考にかかわっていない
  - 3. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
  - 4. 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある
- Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 神奈川県 横浜市
  - 2. 神奈川県 川崎市
  - 3. 神奈川県 小田原市
  - 4. 1～3以外の神奈川県
  - 5. 東京都
  - 6. 静岡県
  - 7. 山梨県
  - 8. その他の道府県( )
- Q3. 貴社・貴団体の種類について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 幼稚園
  - 2. 保育所
  - 3. 託児所
  - 4. 児童養護施設
  - 5. 障害者施設
  - 6. 地域活動支援センター
  - 7. こども関連会社(玩具・教育玩具、児童教育など)
  - 8. その他( )
- Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 50名未満
  - 2. 50名～100名未満
  - 3. 100名～500名未満
  - 4. 500名～1,000名未満
  - 5. 1,000名～5,000名未満
  - 6. 5,000名以上
- Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。
- 過去3か年 平均  名程度
- Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 増やす
  - 2. 昨年度並み
  - 3. 減らす
  - 4. 未定
  - 5. 採用予定なし
  - 6. 見送り(中止)

## 【別紙】 学科説明資料

### 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程に関する基本情報

※以下は予定の内容を含んでおり、変更する場合があります。

#### 【理念・養成する人材像】

時代とともに変化する学習ニーズに応えるため、本学の通学課程と同様の教育を提供できる通信教育を実施することで、乳幼児や子育てに関する質の高い知識や技術を持つ幼稚園教諭及び保育士を養成する。

#### 【学科構成】

| 学科名  | 課程               | 定員増<br>予定年度 | 入学<br>定員 | 修業<br>年限 | コース名     | 主に取得可能な免許・資格   |
|------|------------------|-------------|----------|----------|----------|----------------|
| 保育学科 | 通学課程             | —           | 140名     | 2年       | —        | 幼稚園教諭二種免許／保育士  |
|      | 通信教育課程<br>(男女共学) | 平成28年<br>4月 | 1500名    | 2年       | こども教育コース | 幼稚園教諭二種免許      |
|      |                  |             | 500名     | 2年       | こども保育コース | 幼稚園教諭二種免許／※保育士 |

※保育学科 通信教育課程は男女共学です。

※こども保育コースは、通信教育課程卒業後、専攻科(修業年限:1年)へ進学することで保育士資格の取得が可能です。

#### 【設置場所】

小田原キャンパス (小田原駅より徒歩15分)

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

#### 【主な開講科目】

保育者論、子どもの保健、保育内容総論、子どもの食と栄養、社会福祉、保育の心理学、造形表現、身体表現 等

#### 【通信教育の方法】

本課程及び専攻科で開設する全70科目のうち、35科目をテキスト履修科目(印刷教材による授業科目)、31科目をスクーリング履修科目(面接による授業科目)、4科目をテキスト履修及びスクーリング履修併用科目に設定する。主に、「講義」の授業形態により実施する科目をテキスト履修科目に、「演習及び実験・実習」の授業形態により実施する科目をスクーリング履修科目とする。

##### ①テキスト履修科目とは

学生はシラバス、指定教科書及び担当教員が執筆した「学習の手引き」等を用いて学習を進め、科目修得試験を受験し、単位を修得していく科目

##### ②スクーリング履修科目とは

年9回(初年度を除く)、土日を中心としたスクーリング日程を設け、集中講義による授業を実施し、授業内に実施される課題、単位修得試験、事前あるいは事後課題等により総合的な評価により単位を修得していく科目

#### 【学費及び入学金手続き納付金(初年度予定額)】

保育学科 通信教育課程

入学諸費:選考料 10,000円、入学金 20,000円、学習管理費 5,000円、計 35,000円。

教育費等:授業料(スクーリング料・科目修得試験料 すべて含む) 計 270,000円。 ※資格・免許課程に関する追加での「履修費」はありません。

その他(費用)

テキスト代別途(1学年の目安¥40,000円)、その他(団体保険料、同窓会費、資格申請手数料等) 約¥15,000

#### 【参考】首都圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)にメインキャンパスを持ち 保育・幼児教育分野が学べる「通信制 短期大学」の学納金

| 短期大学名         | 学科名     | 入学諸費   | 教育費等                 | 合計(円)    | その他(費用)                                                |
|---------------|---------|--------|----------------------|----------|--------------------------------------------------------|
| 帝京短期大学(東京)    | こども教育学科 | 40,000 | 120,000<br>スクーリング別料金 | 160,000円 | 資格・免許課程履修費、教科書代は別途必要。<br>スクーリング受講料(1単位6,000円)。         |
| 聖徳大学短期大学部(千葉) | 保育学科    | 40,000 | 96,600<br>スクーリング別料金  | 136,600円 | 免許・資格取得の場合、課程履修費が別途必要。<br>スクーリング受講料(1単位4,000円～5,000円)。 |

※私立大学通信教育協会 発行 「2015 大学通信教育ガイド(大学・短大編)」より、引用。

保育第93号  
平成27年6月8日

文部科学大臣  
下村博文様

小田原市長  
加藤 憲



小田原短期大学の食物栄養学科及び保育学科通信教育課程の  
定員増について（要望）

日ごろ、当市行政に御配慮と御指導を賜り感謝申し上げます。

さて、小田原短期大学は、保育・子育て・食育などの専門教育を展開し、当市の子育て支援センターの運営に加え、教育委員会や子ども・子育て会議への参画など市政の様々な場面で大切な役割を担っていただいております。

当市では平成23年3月に「小田原市食育推進計画」を策定し、市民一人ひとりが食への感謝の気持ちを深め、健康で心豊かな生活を送ることができるよう、その実現に向け各種事業を展開しております。そのような中、同大学では子育て支援センターで栄養相談や食育に関する講座を実施するなど地域における食育を推進するとともに、食育を実践できる人材育成に取り組んでおります。

また、現在、待機児童の早期解消のため、保育所の整備等によって量的拡大を図ろうとしている中、保育士等の確保が喫緊の課題となっております。

さらに、本年4月から「子ども・子育て支援新制度」が施行となりましたが、保育所や幼稚園の現場では子どもの発達に関わる問題をはじめ、様々な課題を抱えており、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供には保育士資格と幼稚園教諭免許を併有した人材が必要となっております。

同大学の保育学科通信教育課程は、働きながら保育分野への就職を希望する人たちへの教育機会の提供に繋がるほか、現在勤務している保育者であっても、通信教育という学習スタイルを利用することで幼稚園教諭免許及び保育士資格の取得を目指すことができ、今後ますます需要は高まるものと考えております。

今回の小田原短期大学による食物栄養学科及び保育学科通信教育課程の定員増については、本市としても実現を強く望むものであり、貴職におかれましては格別の御高配を賜りたくお願い申し上げます。

事務担当：小田原市 福祉健康部健康づくり課

井澤 電話 0465-47-0820

子ども青少年部保育課

大井 電話 0465-33-1451